



多摩市議会
ホームページはこちら

市議会だより

tama city council

No.249

発行 多摩市議会 〒206-8666 東京都多摩市関戸六丁目12番地1 TEL: 042(338)6890・6891 FAX: 042(372)6761

高校生と意見交換会を行いました!

詳細は6~7ページ「市民と議会」をご覧ください。



特集

- ◆ 令和8年度予算審査
- ◆ 市民と議会 つながる
多摩大学附属聖ヶ丘高等学校
- ◆ 市長施政方針への代表質問

令和8年 第2回多摩市議会定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土
	6/1	2	3	4	5 本会議 (議会人事・ 所信表明・ 代表質問)	6
7	8 本会議 (一般質問)	9 休会日	10 休会日	11 本会議 (一般質問)	12	13
14	15 本会議 (一般質問)	16 本会議 (議案等審議)	17	18 常任委員会 総務	19 健康福祉	20
21	22 常任委員会 生活環境	23 子ども教育	24 多摩市役所 新庁舎建設等 特別委員会	25 代表者会議	26 議会運営 委員会	27
28	29 休会日	30 本会議 (議案等審議)				

※日程は変更になる場合があります。

8月5日号に掲載する 表紙写真 募集中!

多摩市公式ホームページにて、「議会だより表紙写真」で検索

議会だより表紙写真

検索



スマホで撮った写真も大歓迎!
みなさんの応募お待ちしております

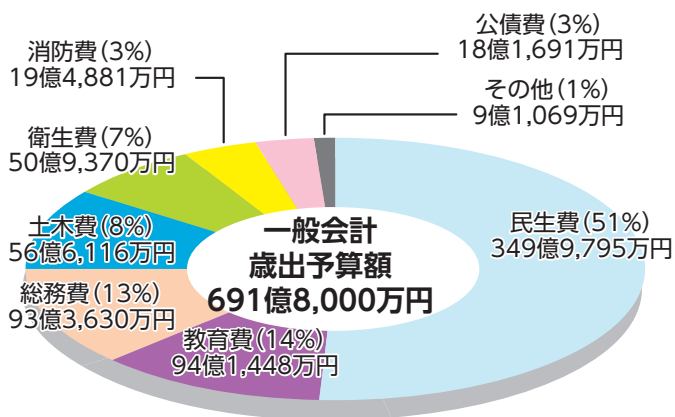


- ◆ 特集 予算審査での話題…………… 2
- ◆ 特集 議会の評価への市の対応…………… 3
- ◆ 特集 一般会計予算案への各会派の意見…………… 4
- ◆ 特集 市民と議会 つながる…………… 6
- ◆ 特集 市長施政方針への代表質問…………… 8
- ◆ 一般質問…………… 10
- ◆ 議長活動報告…………… 14
- ◆ 議案の深議…………… 15
- ◆ 審議結果…………… 16

令和8年度 予算を可決

令和8年度の多摩市の予算(お金の使い方)について、予算決算特別委員会(議長を除く全員で構成)で審査を行い、一般会計、3特別会計、下水道事業会計の予算案を原案のとおり可決しました。

令和8年度 歳出款別 予算額



令和8年度一般会計・特別会計 予算額(前年度比増減)

	一般会計	予算額	(前年度比増減)
特別会計	国民健康保険	143億 960万円	(▲4.7%)
	介護保険	137億 2,368万円	(5.1%)
	後期高齢者医療	57億 8,651万円	(11.2%)
	合計	1,029億 9,978万円	(1.2%)

令和8年度下水道事業会計 予算額(前年度比増減)

	収入	支出
収益的収支	35億 488万円 (0.6%)	33億 532万円 (2.2%)
資本的収支	3,849万円 (▲9.0%)	6億 9,571万円 (50.9%)

※各会計で千円単位を四捨五入し、端数調整しています。

予算審査ではこんな話題がありました…

市の公式ホームページ検索が生成AI検索でより便利に

公式ホームページは7,000ページ以上あり、目的の情報を見つけにくいという課題があります。検索機能を強化し、利用者の利便性をどのように図るのかという質疑に、2026年度は公式ホームページのサイト内検索を生成AI検索に変更すると答弁がありました。

他にも導入までのスケジュールと生成AI検索のイメージについての質疑もあり、7月に実装予定であること、ホームページ内の散らばった情報が要約されたものが提示されることがわかりました。

(総務費 広報活動費)

子どもまんなか、どれだけ進んだ？

全国的に先行実施となった多摩市子ども誰でも通園事業の今後の展開について質疑がありました。試行実施の経験を踏まえ、国の定める一人当たり1か月10時間を上限とした利用時間に、東京都の「多様な他者との関わりの機会の創出事業」を組み合わせ、合計160時間まで利用できる制度とすること。また、令和7年度の13施設から新たに6施設を追加し合計19施設とし、さらに市内広範囲に拡大して実施する予定であるとの答弁がありました。

(民生費 子ども誰でも通園事業)

学校給食配膳室の空調について

学校給食配膳室の夏の暑さ対策について3名の委員より質疑があり、対応策として配膳室内にスポットクーラーやクールスポットを設けること、麦茶や食塩タブレットの配布、冷却ネックリングや保冷タオル等。清潔かつ簡便に使用できるものを中心に活用すると共にアイスベスト等を保管する小型冷蔵庫を設置するとの答弁がありました。エアコン設置についても引き続き検討をお願いしたいとの意見がありました。(教育費 学校給食センター運営費)

多摩市役所新庁舎整備と防災拠点強化

令和14年度の業務開始をめざす新庁舎整備に向け、面的整備調査・基本設計・地盤調査の委託料2億5,565万円と専門スタッフ業務専任職員報酬等215万円が計上されました。

質疑では、華美に偏らず環境配慮と機能性を重視すべきとの意見が出されました。面的整備は約2.7ヘクタールで区画整理認可取得を進め、災害時のアクセス向上を図るものです。防災指令拠点機能の強化や緊急輸送道路との連携、バス停から段差のない動線確保など、市民の安全と利便性を高める整備の重要性が指摘されました。

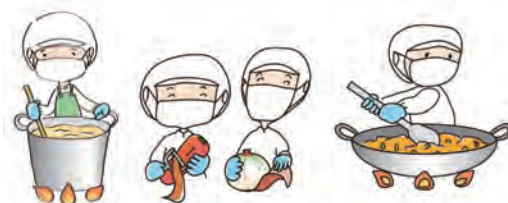
(総務費 庁舎建替事業)

地域エネルギーの自立から持続可能なまちづくりへ

多摩市では、太陽光発電や蓄電池、住宅の断熱改修などへの補助を通じて地域の省エネ化を進めています。中でも、集合住宅では共用部照明のLED化が遅れていることから、国の重点対策加速化事業を活用しLED化を進めています。令和7年度は申請が予算上限に達したため、令和8年度は予算を増額して事業を拡充する予定です。

こうした取組みはCO₂削減だけでなく、エネルギー価格高騰への備えや地域のエネルギー自立にもつながる重要な施策であるため、さらなる推進を求める質疑がありました。

(衛生費 地球温暖化対策事業)



多摩市議会では、市民の代表として議会の意見を反映すべく、決算と予算の連動に取り組んでいます。

令和6年度の決算審査において、4つの分科会ごとに評価対象事業を選定して行った「議会の評価」が、令和8年度の予算対応などで市政に反映されました。

主な提案と市の対応について紹介します。

議会の評価を市政に反映 決算から 予算へつなぐ

「議会の評価」及び「議会の評価への令和8年度予算対応等について」の全文はこちらから



議会の主な提案

市の令和8年度予算への対応等

【評価対象事業】ふるさとTAMA応援寄附金管理運営経費

総務分科会

- ① サイト上での返礼品サムネイル（見出し用の画像）の見せ方は納税者の視点でわかりやすく工夫を求める。
- ② 決算カルテには「市の魅力発信、来街促進と産業振興」に寄与する事業であることがわかる具体的な目標と成果の記載を求める。

- ① 各事業者に伝え、一部のサムネイルを変更した。今後も寄附者にとってわかりやすい工夫を行っていく。（既存予算で対応）
- ② 令和8年度のカルテから「今年度の目標」欄に、具体的な取組み予定を記載するとともに、各年度の決算カルテの「めざす事業の成果」欄に、取組んだ内容や成果について記載する。（既存予算で対応）

【評価対象事業】一般介護予防事業（一般会計）

健康福祉分科会

- ① 男性高齢者の参加率の低さ改善を含め、さらに広く参加者を増加できる取組みと会場確保や交通費負担などの負担軽減や新たな担い手確保の取組みを求める。
- ② 介護予防事業の成果を数値化して可視化する取組みの検討を求める。

- ① 地域介護予防教室は毎年新規立ち上げ団体もあるが満員のところもあり、さらに多くの高齢者が参加できる通いの場の取組みを検討していく。男性高齢者は明確な役割を持った活動を好む傾向もあって参加率が低迷しており、地域活動の把握・発信を進め、男性の選択肢となるよう努める。運営を支援し講座開催日変更やボランティアポイント拡充を検討する。（既存予算で対応）
- ② 健康状態の維持改善や意識の変化など、アウトカム評価の検討を進める。（既存予算で対応）

【評価対象事業】公園管理経費

生活環境分科会

- ① 公園機能の再編について効果が見えにくい。今後のワークショップの実施方法等、費用対効果を考え推進してほしい。
- ② 令和6年度は倒木被害を受け補正予算を組んだが、落枝や倒木に対する事前対策として、さらなる予算確保が必要ではないか。

- ① 広場への機能転換やトイレの再編・機能向上とともに、キッチンカーの出店を可能にし、賑わいづくりにつなげる取組みをした。今後は1地区ずつ腰を据えて、さらなる効果が出せるように取組んでいく。（既存予算で対応）
- ② 公園緑地内には非常に多くの樹木があり、全てを診断するには費用・労力的に大変困難であるが、新たに樹木診断点検育成委託費を確保し、人材育成をしながら持続可能な診断・点検体制の構築をめざす。（新規予算：樹木診断点検育成委託料25万1千円に対応）

【評価対象事業】多摩市立複合文化施設等管理運営事業

子ども教育分科会

- ① ロビースペースの社会包摂機能を充実させるため、テーブル等の増設や空き室を活用した学習スペースの設置を求める。
- ② 清潔さや機能など、トイレ文化は日本の誇り。全国、また海外からの集客を考え、温水洗浄便座の導入を強く求める。

- ① テーブルなどの増設は必要と考えるが、回遊性や動線の確保も重要。居心地に配慮した空間整備を検討する。空き室の活用は予約状況により周知が難しいが、稼働率向上のためにも、活用方法について検討する。（既存予算で対応）
- ② パルテノン多摩は非日常的な体験やエンターテインメントを求めて訪れる施設であり、施設の特性を踏まえ、利用者の快適性を考慮し、温水洗浄便座の導入は、整備状況や設備更新の時期等を踏まえ検討する。（既存予算で対応）

一般会計予算案への 各会派の意見

一般会計予算を審議する際に行った討論(各会派を代表して、その案件に対する賛成・反対の意見を表明すること)をご紹介します。

平和こそ安心・安全な市民生活の礎！今こそ未来を拓く予算を！

原案可決



公明党
あらたに 隆見

戦争ほど残酷なものはない。また、平和ほど尊きものはない。

平和こそが人類の根本の一步である。

暴力は新たな暴力を生むだけであり、憎しみの連鎖を断つには対話しかない、そして何より「命の尊厳」の大切さを実感しながら、私たち公明党は令和8年度予算案について未来を拓く予算として賛成する。

平和への誓いと国際情勢の注視

武力衝突が絶えない今、対話による解決を旨とする思想が不可欠です。本市においても、平和教育を通じて次世代にその価値を伝えることが、安心・安全な市民サービスを支える礎であると確信いたします。

国政では、予算審議の進め方に遺憾な点も見受けられますが、国の政治的都合が地方自治体の執行を妨げることはあってはなりません。特にエネルギー資源を依存する中東情勢の悪化は、市民生活に直結します。状況に応じた迅速かつ柔軟な対応を強く求めます。

本予算案は物価高騰等により過去最大規模となりました。本市は不交付団体として一定の税収基盤を持ちますが、市民が街を選ぶ基準は「住環境」「子育て」「福祉」の充実度です。国に依存せず、独自の政策を力強

く打ち出すべきです。

一方で、大型公共施設の更新や金利上昇局面を見据え、財政の健全性には強い危機感を持つ必要があります。第六次多摩市総合計画の改定年を迎え、事業を「ポジティブに見直す」戦略的な予算編成を断行すべきです。

重点施策への提言と迅速な執行

1.健康まちづくり：社会保障費増大に対し、がん対策や予防接種など「攻めの予防医療」への転換を求めます。

2.にぎわいと防災：若年層の定住促進を図るとともに、日常が災害時に役立つ「フェーズフリー」の視点をまちづくりに導入し、災害関連死ゼロをめざすべきです。

3.庁舎建て替えとDX：本庁舎は「防災の司令塔」とし、行政サービスは「来庁しなくても受けられる」姿を追求してください。

最後に、中東情勢による部材高騰や納期遅延を想定し、契約の前倒しや事前の情報収集など、先手必勝の準備を望みます。

「税について学びたい」という子どもたちの純粋な期待に応え、納められた税金が市民の幸せに直結することを実感できる予算執行を強く要望し賛成とします。

物価高騰に無策な国の悪政のもと、暮らしを応援する市政に！

原案可決



日本共産党
小林 憲一

地方自治体から平和をつくり出す施策を

総選挙後、9条改憲を標榜する自民党が衆議院で単独で3分の2を超える議席を占めるなど、改憲の発議がされかねない危険な状況になっています。憲法9条2項の「国の交戦権の否認」に実効性を持たせるためには、主権者である国民と地方自治体こそが歯止めをかけなければなりません。

平和展と「子ども被爆地派遣」で構成される多摩市の平和啓発事業は、全国でもユニークな、そして先進的な取組みです。この意義を多摩市発でさらに発信し、逆に他自治体の取組みで先進的なものがあれば、どんどん取り入れ、地方自治体の責務として「絶対に戦争にはさせない」を実現しましょう。

物価高騰のもとでとりわけ経済的に困難な方たちへの支援を

市長が「施政方針」の中で述べている「職員とともに『社会で弱い立場にある存在にしっかりと目を向ける』という姿勢を貫いていきます」を具体化するためには、財源が必要です。毎年度決算での20億円～25億円の「実質収支額」(黒字)のうちの半分程度は、後年度での支出に備えるため財政調整基金にため込まれますが、この残り半分と、家計にたとえれば普通預金に当たる財政調整基金の一定額を、物価高騰のもとで「とりわけ経済的に困難な方たちへの支援」に充てることを意識的計画的に実行することを求めます。

たとえば私たち日本共産党多摩市議団が、これまで求めてきた「学用品補助、標準服購入補助」、「18歳までの子どもの国保税ゼロ」、「補聴器購入費助成」、「下水道料金の引き下げ」などをぜひ検討していただきたい。

世界秩序が変わる時。首長にも真っ当な国家観を求める

原案可決



自民党
松田 だいすけ

市長の言われる日本の立ち位置や国際社会におけるリーダーシップのあり方にも理解はいたしました。しかしながら、いわゆる戦後世界秩序はもはや存在しないと言うべき状況が世界では共通認識となりつつあります。

2月に開催されたミュンヘン安全保障会議では、60カ国以上の首脳・65名以上の外相・30名以上の防衛相が一堂に会しました。今年の公式レポートのタイトルは「Under Destruction(破壊中)」。議長ウォルフガング・イッシンガーは「壊し屋の政治の時代に入った」と宣言。さらにメルツ独首相、マクロン仏大統領、ルビオ米國務長官という三大国のリーダーも同じ認識を示し、「戦後秩序の崩壊」が世界のリーダー達の共通認識になったのは明らかです。

真の平和とは何か
先般行われた総選挙の結果も世界秩序の崩壊と無縁ではありません。

衆議院議員選挙後、各方面から今回自民党は大勝したが、高市総理の人氣もそう長くは続かないと言われます。

しかしながら我々自民党会派は高市総理と自民党にさしたる人氣があると思っております。単に周りが自壊してしまったというのが率直な本音であり、これまでの丸腰の平和が今の世界秩序の状況の中では全く通用しないということをも市民国民の皆様が認識した結果であると感じざるを得ません。そろそろ世界の現状をまともに鑑みた議論の進むことを、平和を真に欲する我が会派は心から思うところであります。

多選と言われる中でやるべきこと

予算決算における各款別、各事業について我が会派からも指摘しましたが、特段無理なことを申し上げたものではなく、最低限やるべきことを助言申し上げたものです。現状を鑑みて阿部市政5期目突入だということはほぼ明らかな状況でありますので、それらをいま一度確認し対応していただきたいと思っております。

誰も孤立させない子どもの笑顔溢れる街へ

原案可決



あすたま・女性の力
おにつか こずえ

こどもまんなかの実現

令和8年度予算は691億8千万円で前年度プラス6億円の増収となりました。しかし、依然として続くウクライナ、中東情勢の緊迫化、エネルギー価格の高騰及び円安の影響による物価上昇が市民生活を圧迫しているのが現状です。こういった外部要因による不安の中、自治体としてできる限りの予算編成であることを評価いたしました。

事業では会派で要望してきました、特別支援学級に通学外から単独で通うことが困難なお子さんの移動支援が、移動支援事業に追加されました。こども家庭センターの事業は体制が強化され、妊娠期から子育てまで切れ目のない支援が実現しました。しかし、問題は一部の児童クラブの待機児童数が増えたことです。放課後の居場所について、個々の丁寧な対応を要望しました。

今後も誰一人取り残さない子育て支援と市民の安心安全が最優先な財政運営を強く求めます。

平和を守り、子どもたちに恥ずかしくない市政の実現を

原案可決



生活者ネットワーク
岩崎 みなこ

米国、イスラエルによるイランへの攻撃の報道の映像は子どもたちの影響も心配です。15年前、東日本大震災の津波の映像を常に目にしてきた子どもたちにしたようにケアが必要です。同時に平和憲法の下「多摩市非核平和都市宣言」を制定し恒久平和を訴えている多摩市議会は、武力ではなく対話的解決の意見書や決議を出すべきです。

施政方針の言葉に基づく予算であるべき

市長は学校が今、どれほど暑いか知っているなら、体育館の空調だけでなく校舎の断熱等も必要です。暑すぎるため、最上階を利用しない学校もあると聞きます。しかし、全ての学校でこのような対応はできません。地球温暖化を命の危機と述べるなら、その言葉に見合う予算を付け対応すべきです。

2026年度から始まる「子ども・子育て支援金」の財源を医療保険料と併せ安易に徴収することから、国民健康保険と後期高齢者医療の特別会計予算は反対しました。

情勢変化に即応する精緻な予算編成と、誠実な行政経営を求め

原案可決



青空りっけん
しらた 満

昨秋の予算想定と市民生活の乖離は顕著です。9.2億円もの補助金返上が生じた予測精度の不足を検証し、次年度以降の確かな編成を求めます。約103億円の人件費は、委託先を含め現場で働く「人財」を守り、離職防止につなぐ処遇改善の積算根拠を明確にすべきです。多摩市の民間企業の調査で46.2%が困難とした「小一」の壁」打破へ、朝の居場所づくりなど官民連携の決断を促し、国が不安定な中で市民の暮らしを死守する市政を強く要望し賛成します。

未来を見据え、子どもまんなかの取組みをさらに前に

原案可決



多摩みらいの会
しのづか 元

未来への投資となる子育て、教育については、子どもたちを取り巻く現状を捉え、50年後の大人づくりを見据えたESDやこどもまんなかの取組みを更に前に進めてください。DXの推進やアセットマネジメント計画の着実な実行により、さらなる行財政改革を進めるとともに、まちづくりではニュータウン再生の道筋、特に諏訪・永山のまちづくりの具体化と可視化を進めていただきたい。

米国とイスラエルによるイランへの攻撃は即時停戦！

原案可決



多摩の風
折戸 小夜子

小学校や医療施設がミサイルの直撃を受け、多くの民間人の命が失われています。

即時停戦すべきです。ホルムズ海峡の事実上封鎖で世界経済は悪化し、原油の9割以上を中東に依存している日本への影響は大きい。ガソリンだけでなくプラスチック製品の製造に不可欠なナフサ等の輸入が滞れば、日用雑貨や衣料品等の物価高騰が市民生活を直撃します。迅速な対策を要望しました。

エネルギーの安定供給とAIで持続可能な市政へ

原案可決



日本維新の会
藤條 たかゆき

エネルギー価格の高騰や供給不安は、市財政や市民生活に直結する重大な課題です。再生可能エネルギーの導入や省エネの推進を「地域の安全保障」として位置付け、着実に進めるべきです。また人口減少社会においてはAI活用が不可欠であり、人材育成と組織改革を一体で進める必要があります。危機を好機と捉え、持続可能で強靱な市政運営を求めます。

「福祉」を真ん中に据えた市政を

原案可決



社民党
いぐち 恭子

市長選を間近に控えているながら骨格予算ではなく、阿部市政の基本となる“平和人権事業”と“市民協働”を取り入れた内容となっている点を評価します。物価高騰と国際情勢の混乱により、市民生活に不安感が濃く広がっている現在、政治はその究極の目的である「福祉」の実現に向けいっそう努力しなければなりません。市民生活を守るため、憲法に基づく施政に自覚的に取組んでください。



市民と議会

つ なが る
～ 特 別 編 ～

多摩大学附属聖ヶ丘高等学校
(探究ゼミ)

議会運営委員会

多摩大学附属聖ヶ丘高等学校
探究ゼミのみなさんに
聞きました

#市議会議員が高校生に「ホンネ」を聞いてみた



2月18日(水)に多摩大学附属聖ヶ丘高等学校の「探究ゼミ」の授業時間に参加させていただき、16名のゼミ生(高校2年生)と意見交換会を行いました。

当日は池田委員長から市議会の紹介をした後、4つのグループに分かれて、2つのテーマを30分ずつ、活発な意見交換を行いました。



テーマ①市議会・市議会議員に対して、高校生世代が抱く印象や疑問について

議員の日常は見えづらい？

議員：率直に議員の印象を教えてください。

高校生：常に難しい話をしているイメージがあって、遠い存在に感じます。

議員：「議員」と言っても、市議会議員は遠い存在ではなく、皆さんの周りで普通に暮らしている普通の人なんですよ。

高校生：議会の1年間のスケジュールはどう進みますか？

議員：3・6・9・12月に定例会があり、そこで予算や条例を決めます。それ以外の時期は委員会単位や議員個人で勉強していることが多いです。

高校生：先日傍聴したのですが、市議会で取り上げるテーマはどのように調べていますか？

議員：3か月ごとに市長から議案が提案されるので、各定例に向けて議案を研究・検討しています。一般質問では、議員がそれぞれ自分でテーマを決めて勉強しています。



市議会議員とは、そもそもどういう存在？

高校生：市議会議員と市長の関係性は？

議員：両者は「二代表制」という仕組みの中で、お互いに市民の代表という立場で、協力しながら市長(行政)をチェックします。議員は地域から出された提案や要望などについて市議会を通じて市長に伝え、地域の課題解決のために必要な予算が確保されるよう努めています。

批判を恐れず、魅力を伝えてほしい

高校生：魅力があっても伝わらなければ意味がなく、例えば議会での面白いやりとりや印象的な場面等をSNSで切り抜き発信してみてもはどうですか？

議員：真面目にやってという批判をされるかもしれません。

高校生：批判回避を優先しすぎると、発信が弱まって魅力も失われてしまうと思います。政治家は「日頃何をやっているか」が大切であり、最終的には政策や行動の中身で評価されるべきだと思います。

テーマ② 予算決算特別委員会の4分科会の決算事業評価について



各分科会がどのような視点で令和7年度決算の事業評価を行ったのかについて、班によってはクイズを交えながらなど、議員が簡潔に説明し、意見交換をしました。

1班(ふるさとTAMA応援寄付金管理運営経費)

2班(一般介護予防事業(一般会計))

3班(公園管理経費)

4班(多摩市立複合文化施設等管理運営事業)

今回の意見交換をやってみての感想

意見交換して、議員の印象は変わりましたか？



お堅いイメージでしたが、実際に話してみるとフレンドリーな方が多かったです。やりがいを感じて仕事されている姿も尊敬します！



私たちが知らないところで様々な意見を出して、議論されていることが分かりました。



市議会だからこそ身近な話題で話していて楽しかったです。市民として同じ目線で意見交換できて新鮮でした。

どうすれば、議会や議員を身近に感じますか？



今回の意見交換会のように、直接議員の方と対する機会を増やしてほしいです。



常に流行の最先端を発信しているSNSを通じて市議会を知る機会があると良いです。流行っていることも積極的にしてほしいです。



地元の方と関わる機会や、市議会見学の機会を増やすことで、より身近に感じることができると思います。

今回の意見交換会はどうでしたか？

探究ゼミ
北條先生より



議員さんたちの巧みな話術のおかげで、生徒たちも緊張がほぐれて話に花が咲いたようです。普段の学校生活ではなかなか経験することのない機会を設けていただき、生徒たちにとっても身近な地域社会を考えるきっかけになったと思います。ありがとうございました。



探究ゼミの皆さん、ありがとうございました！

施政方針への 代表質問

3月の多摩市議会第1回定例会では、市長の施政方針に対し、3会派が代表質問を行いました。

施政方針とは、市長が市政運営の基本方針や、主な施策の方向性を示すものです。

代表質問とは、市長の施政方針について、会派を代表し大局の見地から行う質問です。

なお、施政方針は多摩市公式ホームページで、代表質問はYouTubeでご覧いただけます。また、会議録は6月中旬以降、市内の各図書館や多摩市議会の公式ホームページでご覧いただけます。



令和8年度
施政方針



各議員の動画は
こちらから



公明党
本間としえ

大激動の世界秩序の中で、市政の着実な運営を

平和教育と市民に寄り添う福祉の推進

問 本当の平和とは核廃絶によって実現するもので、非核三原則を堅持する決意が必要ではないか。

答 核兵器のない世界に向けた取組みを推進する。

問 未来を担う子ども達への平和教育について問う。

答 戦争の惨禍や平和の尊さを正しく学び、自ら考え行動できる児童生徒の育成に取り組んでいく。

問 健幸ポイント事業「TAMAるんるん」の効果検証と、デジタルに不慣れな方への支援策を伺う。

答 アンケートや参加者の歩数の状況等で利用状況等を把握し、フォロー会等で丁寧な支援をする。

問 妊婦パートナー歯科健診が開始されたが、乳幼児期から高齢期までの歯科保健施策について問う。

答 ライフステージを通じた切れ目ない歯科口腔保健の推進に向け、必要な改善を行っていく。

問 未就学児の国保均等割免除が進められているが、18歳までの範囲拡充について伺う。

答 国の制度の動向を勘案しつつ進めていく。

問 連光寺小学校放課後子ども教室の空調整備を求めるがいかがか。

答 スポットクーラーを配置する等の対応を図りつつ、抜本的な整備に向けた検討を進めていく。

問 不登校対策の効果と今後の施策について問う。

答 チャレンジクラスに続いて令和9年4月に開設予定の「学びの多様化学校分教室」で充実を図る。

問 デジタル化の目標と情報格差対策について問う。

答 令和9年度末までに、今は変えられないものを除き、100%オンライン化を目標としている。高齢者や障がい者スマートフォン相談会等を検討する。

日本医科大学多摩永山病院建替と都市魅力向上策

問 日本医科大学多摩永山病院の建替協議がリスタートしたが、三次救急の機能維持や財政支援の枠組み、まちづくりとの一体的推進について問う。

答 南多摩保健医療圏構成5市で東京都知事に機能維持の要望等を行い、東京都の支援を得ながら、新たな病院建設の実現に向け全力で取り組んでいく。

問 多摩市の観光大使・PR大使の創設をできないか。

答 役割や位置付け、選定基準や任期、活動内容や支援体制など、研究していきたい。

問 レイキャビク市姉妹都市提携の意義を問う。

答 ジェンダー平等の知見を広め、男女平等参画社会の実現に向けた行動へとつなげる契機にする。

新議員紹介

4月12日に多摩市議会議員の補欠選挙が行われ、4名の議員が当選しました。



伊集院 さとし
自民党



さとう みずほ
生活者ネットワーク



早川 かん
日本共産党



藤原 マサノリ
志政会

変更後の会派構成(4月15日時点)

会派名	構成員(◎は代表者)
公明党	◎あらたに 隆見、渡辺 しんじ、池田 けい子、三階 道雄、本間 としえ
日本共産党	◎小林 憲一、橋本 由美子、上杉 ただし、大くま 真一、早川 かん
自民党	◎松田 だいすけ、きりき 優、石山 ひろあき、いいじま 文彦、伊集院 さとし
生活者ネットワーク	◎岩崎 みなこ、岸田 めぐみ、さとう みずほ
たま結の会※	◎おにづか こずえ、中島 律子
青空りっけん	◎しらた 満
多摩みらいの会	◎しのづか 元
多摩の風	◎折戸 小夜子
日本維新の会	◎藤條 たかゆき
社民党	◎いぢち 恭子
志政会	◎藤原 マサノリ

※あすたま・女性の力は、たま結の会に会派名を変更しました。

首長の改選を控えた施政方針について



自民党
松田 だいすけ

市長の国家観と世界秩序について

- 問** 市長のいう国際協調、平和外交を基軸にしたリーダーシップとはどのようなものか。
- 答** 外交におけるリーダーシップには経済力や資源、軍事力、国際的な信頼などが影響を及ぼすが、我が国は歴史的教訓により平和主義を貫いてきたことによる信頼がある。その信頼を礎に排外主義的な発想とは一線を画して国際協調や平和の面で存在感を示していくべきという意味を込めている。
- 問** レアアース等の国産化が可能になれば、超大国の経済的威圧に対して日本が主体となる平和的な対抗力になると考えるがいかがか。
- 答** 資源面での弱みを補うことができれば、国際社会における発言力や外交交渉にも良い影響が出てくるものと考えます。

抄をある程度の頻度で公表してはいかがか。

- 答** 市民の関心が高い重要事項である。協議の進展状況に応じ、適時適切に情報提供を行う。
- 問** 首長5選は多選と言われる。多選禁止や多選自粛の条例を制定する自治体もあるが見解を伺う。
- 答** 多選の弊害については理解している。それが当てはまるのは、自身のまちづくりに対する情熱が失われたときだと思っている。
- 問** 市長はしばしばシンポジウムや会合の冒頭に、国に対して怒りや、遺憾の意を述べられてきた。為政者としての立場を考えると時と場所によっていかがなものかと思う場面もある。アイスランドという国家から叙勲を賜る首長として表現に気がつけたほうが良いかと思うが見解を伺う。
- 答** シンポジウムや会合等で発言をする際、時に力が入り過ぎることもあったかと思う。ご指摘をしっかりと受け止め、ご助言に感謝する。

多選といわれる5選目出馬について

- 問** 日本医科大学多摩永山病院建替の再協議の進

「軍拡に暴走する」国の悪政から市民の暮らしを守ろう！



日本共産党
小林 憲一

暮らしを守る観点から国政の評価を問う

- 問** トランプ大統領の動向への評価を伺う。
- 答** 国際社会での法の支配をないがしろにしていることを憂慮する。気候危機でもIPCCの科学的基礎を否定する十分な根拠を示せていない。
- 問** トランプ政権を一切批判しない高市政権への評価、トランプ政権からの軍備拡大要求についてどう考えるか。
- 答** 歴史的教訓のもとでの平和主義を貫いてきた日本への信頼を基礎にして、排外主義的な発想とは一線を画した国際協調や平和の面で存在感を示していくべきだ。この平和主義を踏まえ、防衛費のありかたも議論されることが重要。

を行うべきと考えるが、いかがか。

- 答** 国交付金を活用し、市民一人4千円のギフトカードの全市民への配布、キャッシュレス決済ポイント還元事業などを行っていく。
- 問** 地域公共交通を確保すべき。いかがか。
- 答** 近隣自治体と連携し交通課題を共同で提起し、制度改善につながる提案を行っていく。
- 問** 統一協会研修施設建設を白紙に戻させる課題をどうするか伺う。
- 答** 高裁での解散命令判決が出れば、統一協会所有地が「賑わいや雇用の創出の場を実現する利用」がなされるよう次の動きをとっていきたい。
- 問** 再エネ・省エネ促進、原発ゼロをめざすべきと考えるが、いかがか。
- 答** 市の非核平和都市宣言にある「原子力に代わる、人と環境に優しいエネルギーを大事にしていきます」という思いを大切にしていきたい。

統一協会所有地の市民本位の新しい利用を

- 問** 「施政方針」の「社会で弱い立場にある存在にしっかりと目を向ける姿勢を貫いていきます」を踏まえ、物価高騰のもとで市民の暮らしを支える施策



市政に関する

一般質問

要旨

第1回定例会では、16名の議員が質問を行いました。質問は、インターネット上で録画をご覧いただけます。

YouTube 多摩市議会 で検索してください。

発言の全文を記載した会議録は6月上旬以降、市内の各図書館や多摩市の公式ホームページでご覧いただけます。



各議員の動画はこちら



多摩市議会会議録検索システム



「乞田川の桜並木」
撮影者：アミノさん(市内在勤)
撮影場所：乞田川(永山駅付近)



岩崎みなこ (生活者ネットワーク)

市長施政方針について

- 問 今回の高市首相の冒頭解散による衆議院議員選挙について、自治体への影響はどうだったのか伺う。
- 答 選挙管理委員会を中心に基礎自治体に負荷をかけた。
- 問 市が啓発する看板等について、被害側に注意喚起する「痴漢注意」や「壁打禁止」など子どもの人権に配慮した言葉として、ふさわしいのか見直しが必要ではないか。
- 答 重要な指摘であると受け止める。
- 問 移動支援事業が通学に利用可能だが、付き添いへの費用負担は必要。先生の負担を減らし、誰もが地域の学校に通えるため、学校作業療法士の導入が必要ではないか。
- 答 学校作業療法士の導入可能性について研究を進める。
- 問 多摩中央公園西側のグリーンライブセンターは、次年度、環境の拠点の二年目だ。若いボランティアの方として中学生の部活動も考えてはどうか。その際、近年の物価高騰の中、交通費の支給も必要ではないか。
- 答 様々なボランティアの力は欠かせない。すぐに、交通費支給とは考えにくい。いろいろな声を聞いていきたい。



中島律子 (あすたま・女性の力)

- 1.不登校児の訪問歯科診療について
- 2.障がいのある方の住まいについて
- 3.ベビーシッター支援事業について

- 問 不登校により長期間学校での歯科検診を受けられていない児童生徒がいると考えられる。歯の健康は非常に重要であるため、そのような児童生徒へ訪問歯科診療という選択肢があることを周知したらどうか。訪問歯科診療を検討したい場合には、どこに連絡したら良いか伺う。
- 答 多摩市健康推進課で相談に応じる。
- 問 親なき後も住み慣れた多摩市に住み続けたいという障がいのある方の願いがある一方で、住む場所が足りない現状がある。空き家活用も含め住まいを増やすための取組みについて伺う。
- 答 障がいのある方が安心して地域で住み続けられるよう、事業者と連携しながら環境整備に取り組んでいく。
- 問 「東京都ベビーシッター利用支援事業」の導入は子育てをする保護者にとって支援の選択肢を増やす重要な役割を果たすものとする。ぜひ導入を検討していただきたいがいかがか。
- 答 他市の先行事例を参考にしながら調査研究していく。



しらた満 (青空りっけん)

- 1.物価高騰対策における支援の公平性と給付付き税額控除の導入について
- 2.多摩市における子育て世代の支援

- 問 物価高騰は全市民の生活を圧迫し所得制限や世帯属性により大きな格差が生じている。行政の支援は公平に市民に届くべきだが、これまでの交付金活用について問う。
- 答 低所得世帯等に令和4年度から6年度まで約22億9千万円、一定程度自由の利く交付金が約4億9千万円交付され、低所得者層の支援が厚くなっている。
- 問 公平な分配を実現する給付付き税額控除について問う。
- 答 中低所得層支援の手厚い仕組みで国の動向を注視する。
- 問 多摩市の夏休みの学童クラブの給食について問う。
- 答 東京都認証学童クラブ事業への移行に合わせ、令和8年度の夏季休業期間から本格実施予定。
- 問 学校給食センターの建替えについて問う。
- 答 令和14年度1学期迄の約5年間を他の方式を想定し、可能な限り短縮を図り、より良い整備手法で進めていく。
- 問 東京都の令和8年度予算、朝の子どもの居場所づくり小1の壁補助金4億円計上、多摩市の対応について問う。
- 答 市教育委員会として現状の実施は考えていない。





池田けい子 (公明党)

特殊詐欺被害にみる
依存的行動と生活支援の課題について

- 問 件数・被害額とともに増加傾向にある特殊詐欺から高齢者を守るため、スマホ教室等で防犯メールやLINEで情報を受け取れるよう、設定までフォローしプッシュ型の注意喚起・啓発に力を入れるべきと考えるがいかがか。
- 答 SNS型投資詐欺・ロマンス詐欺等、新たな詐欺が増えている。関係機関とさらなる連携で、対応について検討していきたい。
- 問 判断能力があり、家族がいても、孤立・孤独状態にある依存的行動により生活困難を抱えている高齢者がいる。地域における場所・人・仕組みの強化を要望する。
- 答 孤立を防ぐ地域ネットワークの強化を図っていく。
- 問 様々な困難事を一箇所で受け止める相談窓口を明確化するとともに、伴走型支援でスムーズな関係機関との連携をお願いしたいが、いかがか。
- 答 地域包括支援センター等で早期に状況を把握し、ご本人の尊厳を尊重しながら速やかに関係機関と連携し、生活状況の総合的な支援を行っていく。



岸田めぐみ (生活者ネットワーク)

国籍を問わず、子どもの学ぶ権利を保障するために

- 問 排除ではなく共生する社会、何より子どもたちが学び育つ権利を保障する社会であるべきと考える。本市の外国人の子どもや家族の定住意向や実態について伺う。
- 答 外国人の子どもや家族は増加の傾向にあるとともに、その多くが定住の意向があるものと捉えている。
- 問 日本語指導を受ける児童・生徒数の推移について伺う。
- 答 過去3年で指導を受ける子どもは増加しており、近年は9月から10月に新学期を迎える出身者の申請や日本語が全くできない状態での転入が増えている。
- 問 学習言語能力獲得は生活では身に付きづらく年数もかかる。計画的な支援と支援する人が必要と考えるが伺う。
- 答 派遣される日本語指導者と学校、保護者、子どもと大まかな計画を立てて取り組んでいる。コミュニケーションを取りながら、これからも子どもたち1人ひとりに合った日本語支援を進めることが大切だと考えている。
- 問 特別な教育課程の必要性をどうお考えか。
- 答 機会を捉えて編成に向けては検討研究してまいりたい。



大くま真一 (日本共産党)

1.「市民が主役」を体現する
複合館・児童館の再整備を
2.公衆トイレ閉鎖と検討のあり方

- 問 豊ヶ丘複合館では市が廃止を撤回し、市民との協議を進めてきた。このこと自体は市の財産ではないか。
- 答 引き続き、住民意見を汲み上げ取り組む。
- 問 東寺方児童館は、方針転換し、存続が必要ではないか。
- 答 機能再編を求める声もある。引き続き協議する。
- 問 存続を求める声が大勢を占めている。このままでは「協議会はアリバイ作り」と言われるのではないか。
- 答 方針を一ミリたりとも変えないということではない。
- 問 代替とされる愛宕児童センターの具体像が明らかではない。基幹館として、現豊ヶ丘児童館エリア含め、子育て支援の空白をつくらないものにすべきではないか。
- 答 アウトドア特化館や基幹館として整備したい。子育て支援を充実させ、空白はつからないよう取り組む。
- 問 豊ヶ丘商店街公衆トイレについて、急な閉鎖や誘導的な意見聴取は問題。今後もうこうした手法を取るのか。
- 答 社会実験として行った。今後、住民と改めて意見交換などを行い、検討を進める。



橋本由美子 (日本共産党)

1.ジェンダー平等推進のため
個人の尊厳が尊重される社会に
2.補聴器購入助成制度実施を

- 問 世界では当たり前になっている「選択的夫婦別姓」に対する市長の考えを伺う。
- 答 現行制度のもとで、苦しんでいる方の存在を受け止め手立てを講じるべきで、選択的夫婦別姓は有効な手立てと認識している。
- 問 現在の教科書には「日本軍慰安婦」という文言が抹消されたままである。中学生が学ぶ場が必要ではないか。
- 答 言葉の記載はないが、戦地の状況に触れ、女性たちの尊厳が傷つけられたことを考える機会はある。
- 問 多摩市の犯罪被害者等支援条例は、支援金制度もなく、SNSによる誹謗中傷が多発する現在、条例の見直しが必要ではないか。
- 答 制定から15年以上が経過している。他自治体の状況も参考に見直しを行いたい。
- 問 補聴器購入助成制度を早期に実施すべきではないか。
- 答 聞こえに対する支援ニーズは高まっている。具体化を進める段階にあると考えている。





藤条たかゆき (日本維新の会)

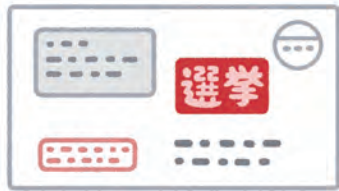
1. 国政選挙が地方自治体の自治事務に及ぼす影響について
2. 給食費無償化のその先へ

問 高市総理による衆議院解散に伴い、極めて短期間の選挙となり、現場には相当な負荷があったのは間違いない。解散から公示までの期間明確化など、憲法改正も含めた制度改正が必要ではないか。

答 解散権の行使自体は国の権限だが、現場の負担は大きい。準備期間が短いことで自治体実務が翻弄されているとして、解散権の在り方に一石を投じるべく緊急声明を出し、他の首長にも問題提起を呼びかけた。

問 4月から公立小学校で月額5,200円を基準額とした国の給食費無償化事業が始まる予定である。アレルギー等での給食未利用児童への対応と、現在の私費会計から公会計化への移行で透明性と公平性をどう確保していくのか。

答 国制度に沿い公平に対応する。公会計化はより歳入歳出を明確化し、説明責任と統制を強化する上で重要であると認識している。制度的・財政的な課題を整理し、適切な時期に進める方針である。



上杉ただし (日本共産党)

1. 認知症になってもいつまでも自分らしくいられる多摩市へ
2. ベルブ永山の学習スペースについて

問 認知症初期集中支援チームからサポートを受けるにあたってのプロセスについて伺う。

答 地域包括支援センターへの相談から、専門チームによる集中支援、そして継続的なケア体制へつなげている。

問 シルバー人材センター会員が認知症診断となった場合のシルバー人材センターの対応について伺う。

答 面談による業務調整や地域包括支援センターとの連携など、状況に合わせた柔軟な就業支援を行っている。

問 唐木田の認知症カフェ(からきだ匠カフェ)では、レクリエーションとしてドローンを活用している。体育館等で飛行させることはできないか伺う。

答 現在、体育館等でドローン飛行は許可していないが、課題や解決策を指定管理者と協議していきたい。

問 建設から約30年が経過したベルブ永山について、今後の施設改修に向けた検討状況を伺う。

答 設備の老朽化対策と変化する利用ニーズへの対応をめざし、持続可能な施設改修の検討を進めていきたい。



おにづかこずえ (あすたま・女性の力)

1. 多摩市役所保護猫譲渡会について
2. 子どもを性犯罪から守るDBS
3. 高齢者を詐欺電話から守る対策

問 保護猫譲渡会の参加人数と譲渡された保護猫の数を伺う。

答 78組158名の参加があり、昨年より3割増加した。保護猫は19匹参加でトライアルは13匹だった。

問 長い待ち時間を有効に活用するために、ボランティア団体が行う譲渡会などのチラシ配布や展示などを行って、保護猫活動を知っていただくことができないか伺う。

答 次回開催の時はボランティア団体の紹介や各団体の譲渡会のチラシなど、団体の皆さんに相談しながら検討していく。

問 日本版DBS(子ども性暴力防止法)の市での運用はいつからか伺う。

答 令和8年度12月25日を予定している。

問 詐欺電話について市民から相談を受けたときの対応を伺う。

答 警察に相談することや、録音機の貸し出し、国際電話の詐欺着信をブロックするアプリ「デジポリス」について説明している。



あらたに隆見 (公明党)

今こそ障害福祉に光を！

問 次回世論調査では障がい者施策について、市民の認知度を聞くべきではないか。

答 条例制定後聞いていないので、次回は聞くようにする。

問 障害福祉の分野ではDXの推進が遅れていると感じるが、今後の取組みについて伺う。

答 オンライン手続きなど、DXを進めていく必要は認識している。可能な業務からオンライン化を進めていく。

問 10年前、採択された失語症支援に関する陳情では、失語症周知・啓発を図るとあるが、どのような状況か伺う。

答 職員の研修等で広めてきたが、今後、さらに市民への周知も強化していく。

問 失語症者の会話パートナー派遣について多摩市では団体派遣は行っているが、個人派遣は行っていない。他自治体では本サービスをスタートしており、当事者団体からの要望も出ている個人派遣を始めるべきではないか。

答 具体的に検討を進め、日々の暮らしを支えていく同行支援を前に進めていく。





しのづか 元 (多摩みらいの会)

市長施政方針について

問 日本医科大学多摩永山病院の建替えの協議再開にあたって、永山駅周辺のランドデザインを示すべき。現時点での考えを伺う。

答 本件は都市計画やまちづくりなどにも関わる重要な案件。策定中の立地適正化計画とも整合を図りながら、より良いまちづくりにつなげていきたい。

問 住民の高齢化はまちづくりの変化を待たずに急速なスピードで進んでいる。市民、特に交通弱者の高齢者等の移動の足の確保は喫緊の課題である。今後あるべき交通ネットワークについての見解を伺う。

答 広域交通、幹線交通、地域密着型交通といった各公共交通の役割分担を明確にし、これら既存交通の維持・確保に取り組む。地域にモビリティハブを整備し、バス、タクシー、自転車など多様な移動手段の乗り継ぎを円滑にし、地域内移動の利便性を高めることにも取り組んでいく。



渡辺 しんじ (公明党)

多摩市の集合住宅の今後を考える

問 多摩市では何世帯が集合住宅に居住しているか伺う。

答 集合住宅に居住する世帯は約53,000世帯で、割合は約77%。26市平均が約58%なので比率が高い。

問 空家実態調査により、空き住戸が減少していることが把握できた。一定の転入があると考えるが、どのような世帯の転入があるか伺う。

答 直近3年間では、30歳代と15歳未満の層を合わせた、子育て世帯の転入が多い。

問 まちの魅力を高めるには、マンション等の計画的な維持管理が重要。長期修繕計画などの策定支援ツールやデータベース化により、管理組合などの負担軽減につながる仕組みを構築できないか伺う。

答 課題は認識している。都や関係機関などと連携し、実効性の高い仕組み、手法を検討する。

問 多摩センターのホテル跡地に宿泊施設の誘致を求めるか伺う。

答 市としても要望をしている。取組みを進めている。



折戸 小夜子 (多摩の風)

1. 解散総選挙の結果について
市長の見解を
2. 市長市政方針について

問 高市首相は抜き打ち解散総選挙で、その結果自民党が単独3分の2を超える議席を獲得したが、憲法9条を改正し、戦争への準備を推進できる政治体制に白紙委任を託した訳ではない。戦後80年守り抜いてきた平和事業をより強化する必要があると思うが、市長の見解を伺う。

答 国政選挙にかかわらず、市民の生命・財産を守る責務は市長にある。戦争を経験していない次世代に戦争の悲惨さや平和主義という日本国憲法の基本原則を貫いてくべきと考えている。

問 異常気象の猛暑対策として、多摩センターバス停8番での西陽対策の進展状況を伺う。

答 有効な対応がない状況。できれば日傘で対応していただければと考えている。

問 冬季の雪対策で自治会・管理組合に融雪剤を配布した件で、市道に撒く十分な量の配布がなく、団地内の北側の凍結防止対策ができる量の配布をすべきだがかかかか。

答 融雪剤の配布量や撒く場所について検討する。



いぢち 恭子 (社民党)

情報公開と行政の責任
—— HPVワクチン接種をもとに考える

問 重篤な副反応が相次いだため接種勧奨を中止していたHPVワクチンが、2022年に勧奨再開となり、副反応に関する相談が増えた。どう考えているか。

答 厚生労働省はワクチンの安全性に問題がなく、接種の有効性が副反応リスクを上回るとしている。

問 1万人に2.5人の割合で副反応が出ることは厚生労働省も認めている。重篤な例では歩行困難や記憶障害が起きるなど、人生が激変し治療法も不明。一方、検診であればがん化する前に治療が可能。自治体にはこうした情報を周知する義務があるのではないか。

答 勧奨の文書やホームページ、厚生労働省のリーフレット等に検診の必要性も記載している。

問 市ホームページのコンテンツを見ると、まずキャッチアップの件や接種に関する案内が並び、副反応のコーナーは最後の方。先に副反応の説明をすべきではないか。

答 HPVウイルス感染症はA類疾病に分類されるため、ワクチン接種と検診の双方で予防すべきと考える。





いいじま文彦(自民党)

児童館の今後のあり方基本方針と
子どもの放課後の居場所確保について

問 東寺方児童館と愛宕児童館を統合し、現在の愛宕児童館の場所に設置する児童センターについて、伺う。

答 市内全域を対象エリアとし、豊かな自然環境などを生かした建物へ改修し、野外活動や自然活動が体験できる機能を持たせ、子どもたちの自由な遊びの場を提供するとともに、休日には親子で楽しめる施設をめざす。

問 東寺方児童館が廃止されても、基本方針では新施設内に子どもの居場所を確保するとした。どうなるのか。

答 現在、地域協議会で検討中であり、結論はこれからである。児童館機能をそのまま残してほしいという声は市としても把握している。今後は、現在展開中のひろば事業の見直しや地域にある保育園など、様々な施設・機関との連携で対応ができるのではないかと考える。

問 子どもの居場所での人的な配置は、どうなるのか。

答 子どもと信頼関係を築いて、職員が子どもの見守りをしていくのが基本である。どのような職員がどのように関わっていきけるか、しっかり検証していきたい。



▲現在の東寺方複合施設

多摩市議会2026 子ども議会探検のお知らせ

子ども議会探検では、普段は入れない議場やその裏側を探検したあと、議席に座って質問したり、議長席に座ったりもできます。

議会の仕組みを学ぶきっかけに、探検してみませんか？

市議会議員全員で皆さんをお待ちしています。

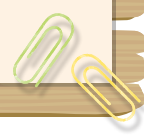
- 開催日時 令和8年7月30日(木)午前9時30分～12時
- 開催場所 多摩市議会(市役所4階)多摩市関戸6-12-1
- 対象 市内在住・在学の小学4～6年生(保護者同伴可)
- 定員 26人(先着順、応募多数の場合は昨年未参加の方優先)
- 参加費 無料
- 申込方法

右のQRコード(市公式ホームページ)からお申し込みください。または、参加申込書付チラシを議会事務局へ郵送や持参でもお申し込みいただけます。



※参加申込書付チラシは学校(アプリ)・コミュニティセンター等(紙)で6月中旬頃に配付します。多摩市議会ホームページにも掲載します。

6月24日(水)受付開始 7月10日(金)(必着)



議長活動報告

令和8年1月～4月の間の議長の公務の一部をお知らせします



多摩市議会議長
三階 道雄

令和7年度南多摩市議会議長会鉄道事業者要請行動 (1月27日)

南多摩5市(八王子・町田・日野・多摩・稲城)の議長が、京王電鉄株式会社と多摩都市モノレール株式会社に鉄道事業の整備促進に関する要望書を提出しました。

京王電鉄株式会社には、ホームドアの設置や一宮地域の円滑な往来の実現のため、聖蹟桜ヶ丘駅から百草園駅間の立体化について要望しました。

多摩都市モノレール株式会社には、多摩センター駅から町田駅間の延伸について、まちづくり構想に基づいてスムーズに進めていただくよう要望しました。

南多摩市議会議長会では共通の課題について調査・研究し、連携を図り、南多摩5市の発展に向けて毎年様々な要請活動等を行っています。



▲多摩都市モノレール(株)奥山社長に要望書を提出

せいせき桜まつり、多摩センター桜まつり(4月5日)

多摩市の春を象徴するイベント「桜まつり」が聖蹟桜ヶ丘と多摩センターで開催され、議長が出席しました。

この桜まつりには他市からも多くの来場者が訪れます。当日は心配していた雨も上がり、桜を楽しみながら会場は大いに賑っていました。

関係者の皆様、大変おつかれさまでした。ありがとうございました。





被生活保護世帯へエアコン購入費の助成を行います

第39号議案 令和8年度多摩市一般会計補正予算(第1号)

議案の内容

国や都の令和8年度当初予算で拡充された制度などに至急対応するもの、情勢変化等に適時適切に対応するもの等について、補正予算が計上されました。

この補正予算は、都の補助事業の創設に伴い、被生活保護世帯へのエアコン購入費の助成をするために計上されたものです。

質疑で確認されたこと

- 問 令和7年度実施した「非課税世帯等エアコン購入費助成事業」では、被生活保護世帯で支給された方は96件と聞いている。今年度支給はされなかったが、次年度の事業では支給できると見込んでいる方の数はどれくらいか。
- 答 令和8年度に実施する「被保護世帯に対するエアコン設置緊急支援事業」は、被保護世帯に対してエアコン設置にかかる費用を支給し、エアコン導入を促進することで低所得世帯における熱中症対策を強化することを目的としている。令和7年度の事業は故障だけでなく、年数が一定程度経過したのも対象としたが、来年度の事業は対象を被保護世帯に特化して、本来の生活保護制度では支給することができない、「故障等」といったところを補完するための事業として対応させていただく。支給対象件数は今年度の支給実績をふまえ、今年度と同程度になると見込んで計上している。
- 問 支給要件の詳細を伺う。
- 答 支給要件は「エアコンが自宅に1台もない」、もしくは「故障等により使用できるエアコンが1台もない」としている。補助基準額の上限額は、本体購入費、配送費・設置工事費・撤去費・リサイクル費の合計で10万円としている。
- 問 今年度実施した事業の対象は非課税世帯等ということで、被保護世帯以外の生活困窮されている方も対象だったため、その対象者数は多かった。令和8年度は被生活保護世帯に特化して予算計上する理由を伺う。
- 答 多摩市は今年度、東京都に先駆けて大規模なエアコン補助を実施し、十分な効果をあげたものと認識している。最終的には、被保護世帯も含めて予算900台に対して833世帯の方へ訪問し、助成を実施した世帯数は737世帯となっている。低所得者への支援については、必要としている世帯への助成が行われたと判断している。
- 問 今回は使用年数などの制限がないとのことだが、故障の判断として例えばフィルターが詰まっている、リモコンの電池がない等の場合、誰がどのように設置可否の判断をするのか。
- 答 今年度実施したエアコン設置事業と同様の考え方で進めることを考えている。具体的には、職員が訪問し、例えばエアコンの本体の電源が点かないとか、コンセントを抜き差ししても反応しない等、明らかに職員が見てわかるようなところについては、しっかり対応していきたい。

3月議会で話し合い、決まったこと。主な内容をお知らせします。

提出した意見書

意見書は、市の公益に関することについて、多摩市議会として国や東京都に意見を表明するものです。

※全文は、多摩市議会公式ホームページをご覧ください。



令和8年第1回定例会
提出(予定)議案

件名	概要	提出先
公衆トイレの維持と災害時トイレ空白解消を求める意見書	東京都が策定した「東京トイレ防災マスタープラン」で示された災害時、トイレ空白エリアの解消については、平常時からの適切な整備と維持が不可欠であることから、既存の公衆トイレの維持・改修、また、災害対応機能の強化等について東京都へ財政支援を求める。	東京都知事



審議結果 - 令和8年第1回定例会 -

全員一致で決定した議案

市長提出議案 38件
 議員提出議案 1件
 陳情 2件



議案の一覧は
こちらから



陳情の要旨等は
こちらから

市長提出議案

【原案可決】

- 令和7年度多摩市一般会計補正予算（第11号）
- 令和7年度多摩市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
- 令和7年度多摩市介護保険特別会計補正予算（第4号）
- 令和7年度多摩市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）
- 令和7年度多摩市下水道事業会計補正予算（第3号）
- 令和8年度多摩市一般会計予算
- 令和8年度多摩市介護保険特別会計予算
- 令和8年度多摩市下水道事業会計予算
- 損害賠償の和解
- 権利の放棄
- レイキャビク市との姉妹都市提携
- 市道路線の廃止
- 市道路線の認定
- 東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部変更
- 多摩市立地区市民ホール条例の一部改正
- 多摩市立老人福祉館条例の一部改正
- 多摩市公契約条例の一部改正
- 多摩市会計年度任用職員の任用、勤務条件等に関する条例の一部改正
- 多摩市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部改正
- 多摩市屋外スポーツ施設の管理運営に関する条例の一部改正
- 多摩市乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正
- 社会福祉法人の保育所に対する補助金の交付に関する条例の一部改正

- 多摩市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定
- 多摩市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正
- 多摩市後期高齢者医療に関する条例の一部改正
- 多摩市介護保険条例の一部改正
- 多摩市介護保険高額介護サービス費等貸付基金条例の廃止
- 多摩市下水道条例の一部改正
- 多摩市下水道事業の設置等に関する条例の一部改正
- 令和7年度多摩市一般会計補正予算（第12号）
- 多摩市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正
- 令和7年度多摩市一般会計補正予算（第13号）
- 令和8年度多摩市一般会計補正予算（第1号）
- 令和8年度多摩市介護保険特別会計補正予算（第1号）

【同意】

- 多摩市教育委員会委員の任命につき同意を求めること

議員提出議案

【原案可決】

- 公衆トイレの維持と災害時トイレ空白解消を求める意見書

陳情

【不採択】

- 法的手続中案件における議会への情報提供および議会関与の適正化に関する陳情

意見の分かれた議案・陳情

○：可決、採択 ×：否決、不採択

議案名	公	共	自	あ女性	ネ	青	み	風	維新	社	結果
令和8年度多摩市国民健康保険特別会計予算	○	×	○	○	×	○	○	○	○	×	原案可決
令和8年度多摩市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	原案可決
多摩市国民健康保険税条例の一部改正	○	×	○	○	×	○	○	○	○	×	原案可決
政党機関紙の庁舎内勧誘行為の実態調査を求める陳情	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	採択

公＝公明党(5人)、共＝日本共産党(4人)、自＝自民党(4人)、あ女性＝あすたま・女性の力(2人)、ネ＝生活者ネットワーク(2人)、青＝青空りっけん(1人)、み＝多摩みらいの会(1人)、風＝多摩の風(1人)、維新＝日本維新の会(1人)、社＝社民党(1人)

※公明党の会派人数は5人ですが、採決は三階道雄議長を除いた4人でを行います。

※3月5日、岩崎議員は欠席

継続とした所管事務調査案件

- 少子高齢化時代におけるまちづくり・コミュニティの維持と発展について
- 重層的支援体制の整備について
- 緑の管理について
- 誰ひとり取り残されない学びの保障としての不登校支援について



※目の不自由な方へ、たま市議会だよりを音訳したCD「声のたま市議会だより(デジ版)」を発行しています (一部のパソコンでも再生可)。
 申し込みは多摩市議会事務局 ☎042-338-6890へ